



## 4 給水ホースの接続

**注意**

- Oリングを傷つけないように注意してください。  
※ Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。
- クイックファスナーは確実にはめ込んでください。  
※ きちんとはまっていないと漏水します。
- 給水ホースは鋭角に曲げないでください。  
※ 破損して漏水する恐れがあります。

**1 キャップを付けたままロータンク下部の穴に通す**  
※ 給水ホースが曲がっている場合、少しならしてまっすぐにすると穴に通しやすくなります。

**2 ポールタップ接続口に接続しクイックファスナー(白)で固定**  
Point 1

**3 止水栓に接続しクイックファスナー(グレー)で固定**  
Point 1  
Point 3

**注意**

- 給水ホースのクイックファスナーは外さないでください。  
※ きちんとはまっていないと漏水します。

ホースすっきり収納する方法を動画でご覧いただけます。

## 5 便座の取付け

※ 施工方法は、各商品の施工説明書をご覧ください。

## 6 止水位の確認

**1 内フタを取り外す**

**【洗浄水量を増やす場合】**  
洗浄水量を増やす場合(大洗浄約8L)の手順④  
以降を参照して、洗浄水量の設定を変更してください。

**2 接続管を下に向ける**

**注意**

- 止水栓を開く前に、ポールタップの接続管先端を下に向けてください。

**3 止水栓を開く** Point 2

**4 水位がウォーターラインマークに合っているか確認**

**【水位が合っていない場合】**

**注意**

- 正しい位置に水位が調節されていない場合、オーバーフローによる止水不良や、水量不足による洗浄不良(紙づまり、汚物残り)の原因になります。

プレートを上げる=水位が上がる  
プレートを下げる=水位が下がる

## 7 ロータンクフタの取付け

**1 止水栓を閉じる** Point 2

**2 内フタを取り付ける**

**【手洗付の場合】**

① 接続管を上に向ける  
② 内フタを取り付ける  
③ 接続管を穴に通す  
④ この位置ではめ込む

**注意**

- はめ込まないと給水蛇腹管が外れ、漏水する恐れがあります。

**3 ロータンクフタを取り付ける**

**注意**

- ロータンクフタを落とさないように注意してください。  
※ 破損してけがをする恐れがあります。

**【手洗付の場合】**

- 接続管は内フタにしっかりはめ込んでください。ロータンクフタが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込み不十分ですので、再度差し込み直してください。  
※ 漏水の原因になります。

差し込むようにして取り付ける

## 8 ストレーナーの清掃

**1 クイックファスナー(グレー)を外す**  
Point 1 Point 3

**2 ソケット、ストレーナーを止水栓から取り外す**

**3 ストレーナーを清掃**

**4 ストレーナー、ソケットを止水栓に取り付ける**  
※ 手でいっぱい締め付けてから工具で締め付けてください。

**5 給水ホースをクイックファスナー(グレー)で固定**  
Point 1 Point 3

**注意**

- Oリングを傷つけないように注意してください。  
※ Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。
- クイックファスナーは確実にはめ込んでください。  
※ きちんとはまっていないと漏水します。
- 給水ホースは鋭角に曲げないでください。  
※ 破損して漏水する恐れがあります。

清掃方法は動画でご覧いただけます。

## 9 水漏れ点検と洗浄確認

**1 便器洗浄を数回繰り返し、各接続部に漏水がないか確認**  
※ 洗浄した際、約5分程度水が流れます。止水不良ではありません。

**2 フロート弁の開閉、ポールタップの動作、洗浄ハンドルの戻り具合など、ロータンク内部金具に不具合がないか確認**

**3 洗浄確認**  
※ 長さ760mmのトイレペーパーを丸めたもの7個が、1回の洗浄で排出できることを確認します。1回で排出できない場合は、フロート弁やその他の内部金具を点検します。

**注意**

- 給排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。  
※ 洗浄不良や止水不良の原因になります。

## 10 溜水面の点検

**正しい溜水面** × **低い溜水面**

**1 洗浄ハンドルを回し、便器洗浄する**

**2 溜水面が下がっていないか確認**

**【溜水面が低下する場合】**

左に回して調整  
※ 調整の際は、接続管を下に向けてください。  
※ 1目盛につき約150cc増減  
※ 手洗付の場合、補給水を増やすと手洗水の勢いが低下します。

補給水目盛

左	目盛位置	右
5 4 3 2 1	左 右	左 右
補給水量増	増水 減水	

**注意**

- 溜水面が低いと以下の現象が起こる原因となります。  
・ 便器に汚物が付着する場合があります。  
・ 封水切れによる臭気上がりや衛生害虫等の侵入が起こる場合があります。
- 排水管に曲りが多かったり、通気が不十分だった場合、溜水面が低下する場合があります。

**【溜水面の判断に迷った場合】**  
ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、溜水面が上昇しない場合は正常です。

## 施工後の確認

便器、タンクともに陶器表面に傷などがいないか確認  
※ 陶器表面に金属類(工具や装飾品)が接触したり、こすれたりすると黒色、銀色などのスジ状の痕がつく場合があります。

**【痕がついた場合】**  
市販のメラミンスポンジに十分に水を含ませ、擦り洗いをして除去してください。

**【ロータンクに給水しない場合、または水を流してから5分以上便器鉢内に水が流れ続ける場合】**  
ダイヤフラムパッキンの清掃をしてください。

清掃方法は動画でご覧いただけます。

**【お客さまにお渡りするまでに凍結が予想される場合】**

**1 止水栓を閉じて、給水を止める** Point 2  
※ 寒冷地水抜式は、室内の水抜栓を操作してください。

**2 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く**

**3 給水ホース内の水を抜く**

**【水抜方式の場合】**  
水抜栓を操作して、配管内の水を抜く

**注意**

- 水を抜いた後は水抜栓を閉めてください。  
※ 漏水の原因となります。

## 洗浄水量を増やす場合(大洗浄約8L)

**1 止水栓を閉じて、給水を止める** Point 2

**2 洗浄ハンドルを操作し、ロータンク内の水を抜く**

**3 ロータンクフタ、内フタを外す**  
6 止水位の確認の手順①を参照

**4 玉鎖の出玉数を記録する** → 出玉数 玉

**5 玉鎖を外し、フラッパー弁を取り外す**

**6 浮玉を移動し、水位調整筒を外す**  
※ 外した水位調整筒は以後使用しません。

**7 内フタを利用して、止めリングを組み付ける**

① V字形状を上にして差し込む  
② ツメに玉鎖(黒)の先端を取り付ける  
③ 玉鎖(黒)をまっすぐ伸ばす

**8 止めリングがはまる位置で組み付ける**

**9 フラッパー弁を取り付ける**

**注意**

- フラッパー弁がスムーズに上下し、正確に取り付けられていることを確認してください。

**6 玉鎖を取り付ける**

**注意**

- 玉鎖は手前側が白、壁側が黒です。  
※ 反対に取り付けると洗浄不良の原因になります。
- 玉鎖の張り過ぎやたるみ過ぎがないことを確認してください。  
※ 洗浄不良や止水不良の原因になります。

**【右ハンドル仕様の場合】** | **【左ハンドル仕様の場合】**

玉鎖を手順④で記録した数にする  
玉鎖(黒)は3玉残しにする

**10 補給水目盛を3に変更** (10 溜水面の点検の手順②を参照)

**11 6 止水位の確認の手順②～施工後の確認**までを行います。

洗浄水量の増やし方は動画でご覧いただけます。